



「豊かな自然と恵まれた環境」を次世代につなぐ

めざす姿

環境問題を自分ごととして捉え、豊かな自然環境と生活環境を守りながら、脱炭素社会、循環共生型社会の実現に向けて行動するまち

施策分野

脱炭素型
社会

循環型
社会

自然・
生活環境

施策

23



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



脱炭素型のライフ・ビジネススタイルへの転換

気候変動がもたらす地球温暖化などの環境危機に直面している中で、都市の仕組みや暮らしのあり方をあらゆる領域で環境に配慮した持続可能な形に転換するため、市民や事業者等と行政とが一体となり、地域社会全体で環境問題に取り組んでいくことが求められます。

先進的に行ってきた公共施設の脱炭素化や再生可能エネルギーの活用に取り組むとともに、一人ひとりが自ら考え、環境に配慮した行動を実践するまちづくりを進めます。

建築物脱炭素化・再生可能エネルギー導入の促進

- 公共施設等の ZEB 化や住宅の ZEH 化など建築物の脱炭素化の促進
- 再生可能エネルギーの導入促進
- ごみ処理発電などを活用したエネルギーの地産地消の推進

市民の学習・教育・啓発の推進

- 脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた啓発の充実
- 市民の主体的な学びや協働による実践の促進

企業等の脱炭素経営の促進

- 脱炭素ビジネススタイルへの転換に向けた啓発の充実
- 中小企業等への脱炭素経営意識の醸成と取組の促進

施策

24



資源の消費抑制・循環型社会づくりの推進

循環型社会の実現に向けて、日々の生活や事業活動の中で、地域社会が一丸となって2R（リデュース・リユース）＋R（リサイクル）を実践することや、ごみ処理施設の安定的な運営・整備が必要となります。

市民のライフスタイルや事業者の業態等を踏まえながら、様々な機会を捉えた意識醸成や主体的な行動を促す取組を進めるとともに、上津クリーンセンターの更新など、将来にわたり安全で安定したごみ処理体制を構築します。

2R＋Rの推進

- リデュース（発生抑制）を最優先にした市民や事業者の環境意識の醸成
- プラスチックごみ、食品ロスの削減
- リユース（再使用）の促進
- 分別の徹底とリサイクル（再資源化）の推進

安全で安定したごみ処理体制の継続

- 次期上津クリーンセンターの整備
- 2つのクリーンセンターによる安定したごみ処理体制の構築

各論

施策

25



自然と多様な生き物が共生する環境づくりの推進

気候変動をはじめ、生物多様性の損失や内陸部から流出する海洋ごみ問題など、地球環境の危機は深刻さを増し、将来への影響が強く懸念されています。

本市の都市個性である筑後川や耳納連山などの豊かな自然環境を地域社会全体で守り育て、誰もが快適に過ごすことができる美しいまちづくりを進めます。

自然環境・生物多様性の保全

- 多様な生き物が生息できる自然環境の保全
- 豊かな自然環境が有する多様な機能の活用・保全
- 事業所等との協働による希少種保全・保護の推進
- 市民団体や事業者等との協働による保全活動を担う人づくり

生活環境の向上

- 環境汚染等の未然防止
- クリーンパートナーなど環境美化活動の促進
- ごみの不法投棄や野外焼却の防止